

## 《単位互換提供科目詳細》

\* 科目 No. 1401

## 科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島工業大学	科目開講 キャンパス	広島工業大学				
2. 科目名	正式科目名	コンピュータ図学			クラス名		
	副題				配当年次	1年次	
					受入学年	—	
	旧科目名						
	学問分野	番号	31	名称	機械		
	サテライトで開講される科目の科目群		A群	B群			
3. 担当教員名	王 栄光 (機械システム工学科 教授)						
4. 単位数	2 単位	5. 開講学期	前期				
6. 開講期間 曜日・時間	平成 29 年 4 月 10 日 (月) ~ 月曜日 9:00 ~		平成 29 年 7 月 24 日 (月) 10:30				
個別開講日	1回目 4/10	2回目 4/17	3回目 4/24	4回目 5/1	5回目 5/15	6回目 5/22	
	7回目 5/29	8回目 6/5	9回目 6/12	10回目 6/19	11回目 6/29	12回目 7/3	
	13回目 7/10	14回目 7/17	15回目 7/24	16回目 /	試験日 /		
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 ( ) 2. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 (総授業定員)	若干名 ( 人)	9. 定員超過時の 選考方法	なし				
10. 科目内容・ 授業計画	<p>機械のほとんどは複数の立体の集合体であり、相互に作用し、所定の動きをする。個々の立体は多くの点・線・面で構成されている。3次元立体の形状認識、表現、図の解析等の基礎となる図法幾何学を柱の中心として学び、次いでコンピュータを用いた作図により、平面および立体図形の自動作図の演習を行う。基礎作図および機械設計製図での学習内容との接続を考慮し、図学幾何学を通して製図学の概念を修得するとともに、コンピュータによる作図を通してCADへの導入を容易にすることを目的とする。</p> <p>[主な内容]</p> <p>(1) 図の書き方と平面図形 (2) 立体の投影・正投影法による幾何学的解析の基礎 (3) 切断相貫・展開 (4) 工学的に重要な曲面・直観的投影法 (5) コンピュータを用いた図形処理</p>						
11. 試験・評価方法	レポート、試験等の結果によって総合的に評価する。						
12. 別途負担費用	教科書代、製図道具代						
13. その他特記事項	(1) 情報システムセンターから CAD 教室パソコン用 ID を発行する必要がある。 (2) 受入人数：5名以内						
14. サテライト科目 の社会人受講について	科目等履修生 (単位付与) として受け入れ	可	否				
	聴講生 (単位認定不要) として受け入れ	可	否				